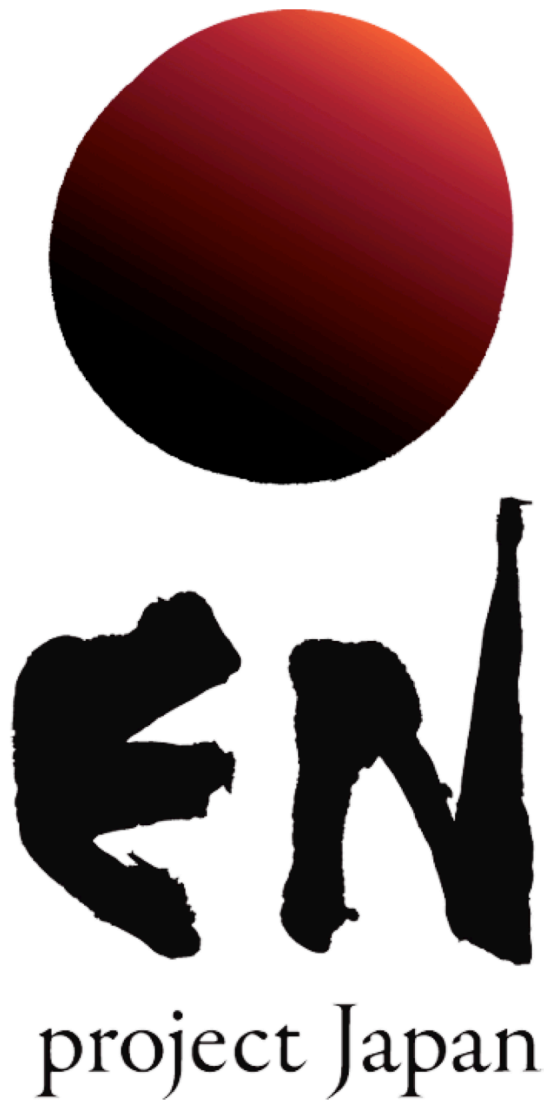




3 月 11 日に発生しました「東日本大震災」に対しまして、
犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、
また、甚大な被害に遭われました皆様方には
心よりお見舞い申し上げます。

EN project Japan 実行委員会

EN project Japan

EN project Japan（エンプロジェクトジャパン）は、北海道発信の日本応援プロジェクト団体です。アスリートやアーティスト達を中心に発足しました。日本がこの状況にあって、もう見て見ぬ振りは出来ません。今こそ考え、行動していく時です。その先には数限りない楽しみと充実感があるはずです。自分の幸せに誰かの幸せの一部を入れることはできるはずです。私たちにできることは確実にあります。必要とされる喜びを感じながら、皆さんと共にシンプルに行動していきたいと考えております。

*** 理念 ***

縁をつむぎ、輪をつくる。

*** 発足の経緯と宣言 ***

2 万人以上の犠牲者、30 万人以上の被災者との報道がされている今回の大震災。更に災害から波及していくであろう、農業、漁業、輸出業、観光業などのダメージは計り知れません。

いま私たちは戦後日本の最大の危機に直面しています。

そこからどう復興していくか。

EN projectは、アスリートやアーティスト達が中心となって、一人一人が何を出来るか考えるきっかけをつくり、そして共に行動していきたいと思っております。まず義援金による被災地の支援、そしてその後の経済危機によって徐々に広がると思われる人々の悲壮感を少しでも食い止め、力強い精神を奮い立たせる為の活動を展開していきます。

1 日も早く EN projectが目的を完遂し、活動を解散する日を願って。

北海道の結束のための 1 つの象徴として、
ここに EN project Japanの発足を宣言します。

＊ ご挨拶 ＊

私はサッカー選手として、現役時代からアスリートの社会的役割について想いを巡らせてきました。スポーツ産業の力で元気のない北海道に少しでも活気を与えたい。そのためにまず、多種にわたるスポーツの垣根を越え、アスリートが自らの意志で社会貢献できるプラットフォームを整えたいと考えてきました。

そして突然の大震災。

今回の東日本大震災では東北地方を中心に日本全体が壊滅的なダメージを受けました。北海道でも函館や太平洋側の地域で深刻な事態になっています。そして二次被害、三次被害がどれくらい広がるのか想像もつきません。更に今後懸念されるのが原発等の影響による風評被害です。北海道の持ち味である観光はすでに深刻な状況になっていると聞いています。又、原発の状況次第では、一次産業や二次産業にも深い爪痕を残すかもしれません。

だから、いま行動しなければいけない。

私はそう思い、各方面の方々に声をかけ、急遽、今回のイベントを企画しました。私は、アスリートという存在の逞しさ、忍耐力、向上心が、被災者や道民の勇気に繋がると信じています。プレーが満足に出来ない環境だからこそ、力強い発信力で人々を惹き付けていくべきだと思います。それが、日頃ご支援、ご声援を頂いている方々への恩返しにもなるのではないのでしょうか。種目間の垣根をなくすことで、ファンとの融合やファン同士の交友、そして助け合いが生まれていくのではないかと期待しています。そして、様々な意味において、いまアスリートはその価値を問われている時だと感じています。今後更に冷え込むと予想される経済の中、種目や球技によっては支援不足が原因で、活動することが難しくなってしまうアスリートも出てくるかもしれません。しかし、そのような時代に、アスリート同士で力を出し合い、ファン同士で助け合い、お互いが知恵を出し合い、助け合う事が出来るプラットフォームを構築したい。

いまこそ、北海道を代表するアスリート達で力を合わせましょう。

ENプロジェクトジャパン実行委員長 曾田雄志

アスリートによる東日本大震災チャリティイベント

project 1 : 北海道アスリート All Stars

-まなざしの先に-

今回の大震災は日本と日本人にとってもない被害をもたらしました。実害だけでなく心的なダメージも計り知れません。この状況を、少しでも明るくしたい。その為に何が出来るのか。EN Projectでは北海道出身、北海道を拠点に活動しているアスリート達に声を掛け、北海道のひとつの象徴として、共に支援活動を行っていきます。スポーツ王国・北海道はこれまで数多くの優秀なアスリートを輩出してきました。厳しいトレーニングに耐え、数多くの困難を克服してきたアスリート達は、この震災に何を見据えているのでしょうか。そのまなざしの先を、1メートルを越える巨大なポートレート写真作品と、彼らが被災地へのメッセージとして託した漢字一文字のメッセージを書道作品で表現し、展示します。この展示が皆様と共に日本の未来を見据え、考え、そして行動する契機となれば幸いです。そして、アスリートたちが、競技、チーム、種目の枠を超えて、メディアでメッセージを送るだけではなく、実際に街頭に出て支援活動、募金活動をしてまいります。また復興には大変時間がかかる事を想定し、震災問題が落ち着いたあとも継続して理念を伝え、更に北海道の活気の取り戻す為の活動を推進してまいります。

参加アスリート（五十音順）

阿部 友和	北海道バスケットボールクラブ	寺田 明日香	北海道ハイテクAC
飯村 喜則	日本製紙クレインズ	外崎 潤	日本製紙クレインズ
石崎 琴美	チーム青森	西脇 雅仁	日本製紙クレインズ
北風 沙織	北海道ハイテクAC	春名 真仁	王子イーグルス
栗城 史多	登山家	福島 千里	北海道ハイテクAC
斉藤 哲也	王子イーグルス	船木 和喜	F. I. T
桜井 良太	北海道バスケットボールクラブ	古田 寛幸	コンサドーレ札幌
砂川 誠	コンサドーレ札幌	前田 智美	ノルディーア北海道
関口 優志	エスポラーダ	松井 克師	スノーボード
高木 美帆	北海道帯広南商業高等学校		

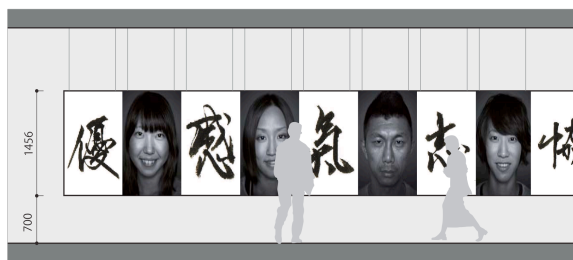
イベント概要

札幌駅前通地下歩行空間 展示

日程：4月15日～4月30日

場所：札幌駅前通地下歩行空間・北一条憩いの空間

アスリートの「写真」とアスリート達からの被災者に対するメッセージを漢字一文字で表現した「書道作品」を展示します。



アスリートによる「東日本大震災」への募金活動

（※ 集められた義援金は日本赤十字社を通じて被災地の方に届けます。）

日程：4月15（金）

場所：札幌駅前通地下歩行空間・北三条交差点広場

時間：14:00（記者会見）14:15（挨拶）14:30（募金開始）17:00（終了予定）

参加：飯村 喜則／北風 沙織／斉藤 哲也／桜井 良太／砂川 誠／関口 優志／寺田 明日香／
外崎 潤／西脇 雅仁／春名 真仁／古田 寛幸／前田 智美／松井 克師

日程：4月/16(土), 23(土), 24(日), 30(土)

場所：札幌駅前通地下歩行空間・北三条交差点広場

時間：14:00（実行委員長挨拶／参加アスリートの紹介）14:15（募金開始）17:00（終了）

参加：

16日：阿部 友和／飯村 喜則／北風 沙織／斉藤 哲也／外崎 潤／寺田 明日香／西脇 雅仁／
春名 真仁／福島 千里／松井 克師／前田 智美／松井 克師

23日：阿部 友和／高木 美帆／外崎 潤／西脇 雅仁

24日：飯村 喜則／斉藤 哲也／高木 美帆

30日：阿部 友和／飯村 喜則／斉藤 哲也／外崎 潤／西脇 雅仁／春名 真仁

*アスリートの予定は事情により変更する事がございます。

EN project Japan 実行委員

実行委員長	曾田 雄志
副実行委員長	馬場 杏輔（写真家）
副実行委員長	八戸 香太郎（現代書道家）
事務局長	浦谷 幸史
副事務局長	村田 雅宏（ウエス）
ウェブ担当	倉賀野 雅士
グラフィック担当	平田 進一
顧問弁護士	清水 智
顧問税理士	高野 真人

事務局・お問い合わせ先

EN project Japan 実行委員会事務局

〒004-0867北海道札幌市清田区北野7条4丁目11-20

TEL 011-375-7779 / FAX 011-888-1123

E-MAIL info@enproject.jp

WEB <http://www.enproject.jp>